

## 旭川市地域公共交通網形成計画の主な取組状況

### 事業 1 路線網に関する事業

#### ○ 旭川環状通り循環線実証実験の実施

令和元年 10 月 1 日より、居住地域と中心市街地を結ぶ路線ではカバーできない居住地域間の公共交通利便性の向上のため、旭川電気軌道（株）及び道北バス（株）により、実証実験として旭川環状通り循環線の運行を開始。

#### ○ P T P S 導入の検討

旭川市、交通事業者、北海道警察間で協議を行い、P T P S の整備の規模が大きくなる事や、機器、システムが複雑で整備費用が高額になることから、整備に当たってのハードル、費用対効果を踏まえ、市内で既に 9 カ所の交差点に設置されているバス感知器の調整による信号制御の実施によって、バス交通の速達性の向上を目指す方向で調整中。

※ P T P S（公共交通優先管制システム）とは、道路上に設置された光ビーコンとバス車載器が通信を行い、その情報を元に信号管制システムが信号の制御を行うことで、バスの速達性や定時性を向上させるシステム。北海道においては札幌市のみが導入。

### 事業 2 郊外路線に関する事業

#### ○ 米飯線（デマンド交通）に関する利用促進等

主たる利用者である地域住民に利用促進に向けた意識啓発を行うため、地域住民との意見交換会、利用についての出前講座等を実施するとともに、関係機関との協力体制の構築や、住民の声を聞くことによるサービスの向上を目指していく。

### 事業 3 交通拠点に関する事業

#### ○ バスキタ！旭川及びデジタルサイネージを活用した駅前におけるバス案内の充実

旭川駅周辺におけるバス乗り場及び路線の分かりやすさ向上のため、バスキタ！旭川と連携したバス案内サイン（デジタルサイネージ及びサイン上に配置された Q R コードの読み取りによるスマートフォン上におけるバス案内の仕組み）を令和元年度中に駅前広場に設置予定。

#### ○ 旭川駅前のバス案内機能の強化

観光物産情報センター、交通事業者間で旭川駅前における交通の案内等のさらなる向上を目指して、現場レベルでの意見交換を行う方向で調整中。

#### 事業4 乗継ぎ環境、利用環境の改善に関する事業

- 多方面の路線が接続するバス停の乗り継ぎ案内の充実  
「バスキタ！旭川」とQRコードを用いたスマートフォン上におけるバス案内の仕組みを生かし、多方面の路線が接続し、利用の多いバス停におけるバス案内を向上させる。

#### 事業5 バリアフリーに関する事業

- ノンステップバス、ユニバーサルデザインタクシーの車両の導入  
身体障害者や高齢者など、身体の不自由な乗客にとっての利用がしやすいよう、バリアフリー車両の導入を各社において進めている。  
導入には国庫補助を活用するほか、ユニバーサルデザインタクシー車両の導入には市補助も実施。

#### 事業6 観光に関する事業

- 外国人向けの多言語化の実施  
バスキタ！旭川及び駅前に設置するデジタルサイネージを多言語対応させ、増加する海外からの個人旅行客への対応を図る。

#### 事業7 利用促進に関する事業

- 公共交通利用促進策の実施  
JR北海道、北海道、市町村による線区別アクションプランに基づいた鉄道の利用促進を行うほか、各主体において「バスの日イベント」「タクシーの日街頭啓発」などを実施。  
「バスの日イベント」では路線バスを利用して市内各地域の菓子店を巡る企画を行い、好評を博した。  
また、令和2年3月20日（金）には、イオンホール（イオンモール旭川駅前4階）において、「どのバスに乗れば目的地まで行けるか」などの疑問にバス事業者のスタッフが答える「バスの乗り方相談会」を実施する。

#### 事業8 安定運行に関する事業

- 運転体験会や就職相談会などの実施  
北海道は、10月26日（土）に旭川市内で路線バス運転体験合同就職相談会を開催した。なお、道北バス(株)及び旭川電気軌道(株)では、新規雇用者に対する大型二種免許取得に対する支援を実施している。